

中間のまとめ（素案）のポイント

I 成長と成熟が両立した未来の東京に相応しい住宅政策の考え方

○今後の住宅政策の方向性について検討

（主な調査項目）・東京における住生活の現状、これまでの施策のレビュー ・住宅に関する産業やサービスの担い手からのヒアリング
 ・「『未来の東京』戦略」や住宅政策に関連する都市整備、環境、福祉、防災等の施策の動向

○これから展開すべき住宅施策

⇒高齢者、障害者、ひとり親などの居住の安定の確保、災害に強い住宅、空き家、マンション対策など社会の成熟化に対応した施策の強化
 ⇒DXの導入等による新たな日常の実現、住宅市街地のゼロエミッション化など成長に向けた新たな施策の展開

II 住宅政策の目指すべき目標と2040年代の姿

III 具体的な施策の方向

⇒10の目標と2040年代の姿を示すとともに、それぞれについて具体的な施策の方向を提示

目標1 新たな日常に対応した住まい方の実現

（施策の方向）

新たな日常に対応した住宅の普及、新たな日常に対応した住環境の整備、デジタルを活用した利便性の向上

目標2 住宅市街地のゼロエミッション化

（施策の方向）

住宅のゼロエミッション化、環境に配慮した住宅市街地の形成、緑豊かな住宅市街地の形成

目標3 住宅確保に配慮を要する都民の居住の安定

（施策の方向）

より困窮度の高い都民への都営住宅の的確な供給、公共住宅の有効活用、民間賃貸住宅を活用した住宅セーフティネット、住宅確保要配慮者の居住支援、住宅のバリアフリー化の促進

目標4 住まいにおける子育て環境の向上

（施策の方向）

子育て世帯向け住宅の供給促進、子育てに適した住環境の整備、近居や多世代同居の促進

目標5 高齢者の居住の安定

（施策の方向）

住宅のバリアフリー化や生活支援施設の整備等の促進、民間住宅を活用した高齢者向け住宅の供給促進、高齢者の円滑な住み替えの支援

目標6 災害時における安全な居住の持続

（施策の方向）

地震に対する住宅の安全性の向上、木造住宅密集地域の改善、風水害への対策、被災後の住宅の確保
 風水害への対策、被災後の住宅の確保

目標7 空き家対策の推進による地域の活性化

（施策の方向）

区市町村による空き家の実態把握と計画的な対策の促進、空き家の状況に応じた適時適切な対応、地域特性に応じた空き家施策の展開、都の空き家施策の計画的な展開

目標8 良質な住宅を安心して選択できる市場環境の実現

（施策の方向）

良質な家づくりの推進、既存住宅を安心して売買等ができる市場の整備、消費者や住宅所有者に対する普及啓発

目標9 安全で良質なマンションストックの形成

（施策の方向）

マンションの適正な管理の促進、老朽マンション等の再生の促進

目標10 都市づくりと一体となった団地の再生

（施策の方向）

良好な地域コミュニティの実現、公共住宅団地等の団地再生、地域特性に応じた都営住宅の建替え、地域の課題を踏まえたまちづくり

IV 住宅市街地の整備の方向

⇒地域ごとに整備の方向と施策展開の方向を提示

V 目標実現に向けた施策の進め方

⇒民間や区市町村を巻き込んだ幅広い展開、きっかけとなる公的プロジェクトの実施
 ⇒適時適切な施策の企画立案